

Git によるバージョン管理入門

田中 健策（株式会社 RAKUDO）

第三回

github のコミュニティ機能

バージョン管理システムは、コラボレーションを促進することにより、人を繋げることができます。

自然に github はコミュニティを支援する機能を持つようになりました。

それを使いこなすことが、一人ではできない大きな仕事をしたり、思わぬ出会いを生み出すために重要です。

Wiki

Wiki はメンバーの誰でも編集できる、コミュニティ用の文書管理ツールです。

github のリポジトリには Wiki を用意することができます（これ自体が git で管理されています）。

この講義用の Wiki は

<https://github.com/tannakaken/nugitlecture2020/wiki>です。

メンバーで共有すべき知識などはここに書きましょう。

今回は、それぞれの担当分と、LaTeX ファイルの作成方針を（田中）が書きます。

リポジトリに何か問題が発生した時、ここに報告して、議論をすることができます。

今回は

- pull や push ができないなど git の問題
- コンパイルができないなどの TeX の問題、

をここに投稿すればいいでしょう。

(ただし、これは一般に公開されているので、講義の成績に関する質問などは避けたほうがいいかもしれません)

discussions

その他 discussions などの機能もあります。
あまり使ったことはないのですが、作業の担当などで疑問があればここで議論をすることも可能でしょう。

最終目標の確認

最終的に一枚の PDF になるような LaTeX ファイルを作ってもらいます。

書くことは「何かの問題の解答」です。

適当な大学入試問題などを Web で拾って来ればよいと思います。
作るのが難しそうだったら、簡単な問題の解答を作ればよいです
(そこが重要ではないので)。

今回の課題

リポジトリの Wiki に「自分はなんの問題の解答を書くか」を書いてください。

Wiki ページの右上に「Edit」ボタンがあります。

またそれぞれの作業は、ブランチを分けて行います。

前回作ったテスト用のファイルを自分で掃除して、ブランチを分けて、自分用の作業フォルダを作ってください。

ブランチ名は自分の github アカウント名などがいいと思います。

そこに、自分の LaTeX ファイルを書いていってください。

ここまでが今回の課題です。

次回以降の話

1/8 までに単独でコンパイルできる解答ができているとありがたいです。

それぞれの LaTeX ファイルを統合する仕組みは次回以降作ります。今回はとりあえず自分の LaTeX ファイルだけでコンパイルできるようにしてください。

今後の予定

- それぞれでコンパイルできる LaTeX ファイルを統合してコンパイルする方法
- プルリクエストによってブランチをマージする
- github action による自動化